

# 企業の新しい形の社会貢献としての 農泊の推進について

---

令和 3 年 6 月

**農林水産省**  
農村振興局

- 「農泊」とは、  
**【利用者】** 農山漁村地域に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」。  
**【提供者】** 地域の中で「宿泊」、「食事」、「体験」を提供できる形を備えていることが必要。
- 宿泊を提供することで、旅行者の地域内での滞在時間を延ばしつつ、滞在中に食事や体験など地域資源を活用した様々な観光コンテンツを提供して消費を促すことにより、地域が得られる利益を最大化。
- そのためには、地域の関係者が一丸となって、農泊をビジネスとして取り組むことが重要。

## 農泊（農山漁村滞在型旅行）



## 農泊推進体制

法人化された**中核法人**を中心として、多様な関係者がプレイヤーとして**地域協議会**に参画し、**地域が一丸となって取り組む**。

### 地域協議会

### 中核法人※



※ 中核法人の主たる事業は、農林漁業関連、観光協会等の非営利事業、体験・ガイド、宿泊事業等

# 農林水産関連の主な地域資源

<和食>



<SAVOR JAPAN>



神楽料理/宮崎県



もち料理/岩手県

<棚田>



白米千枚田  
/石川県輪島市

<世界農業遺産>



長良川上中流域  
/岐阜県

<美しい森>



糺の森  
/京都府京都市

<ジビエ>



<漁港めし>



都屋の海人丼/沖縄県

食

景観

<日本農業遺産>



複合的果樹システム  
/山梨県

<かんがい施設遺産>



通潤橋  
/熊本県山都町

<農作業体験>



ミカン狩り/鹿児島県出水市



野菜収穫体験  
/熊本県菊池市

体験

宿泊

<古民家>



京都府南丹市美山町

<自然体験>



フットパス  
/北海道鶴居村



カヌー体験  
/宮崎県延岡市

<文化体験>



茶道体験  
/鹿児島県出水市



紙漉き  
/福井県越前市

<農家民宿>



福井県鯖江市



<漁家民宿>



京都府与謝郡伊根町

## 採択地域数 (R2年12月時点累計) : 全国計 554地域

|           |             |
|-----------|-------------|
| <b>近畿</b> | <b>54地域</b> |
| 滋賀県       | 6           |
| 京都府       | 13          |
| 大阪府       | 5           |
| 兵庫県       | 11          |
| 奈良県       | 11          |
| 和歌山県      | 8           |

|           |             |
|-----------|-------------|
| <b>北陸</b> | <b>56地域</b> |
| 新潟県       | 21          |
| 富山県       | 10          |
| 石川県       | 14          |
| 福井県       | 11          |

**北海道** 44地域

|           |             |
|-----------|-------------|
| <b>東北</b> | <b>81地域</b> |
| 青森県       | 11          |
| 宮城県       | 23          |
| 山形県       | 11          |
| 岩手県       | 14          |
| 秋田県       | 11          |
| 福島県       | 11          |

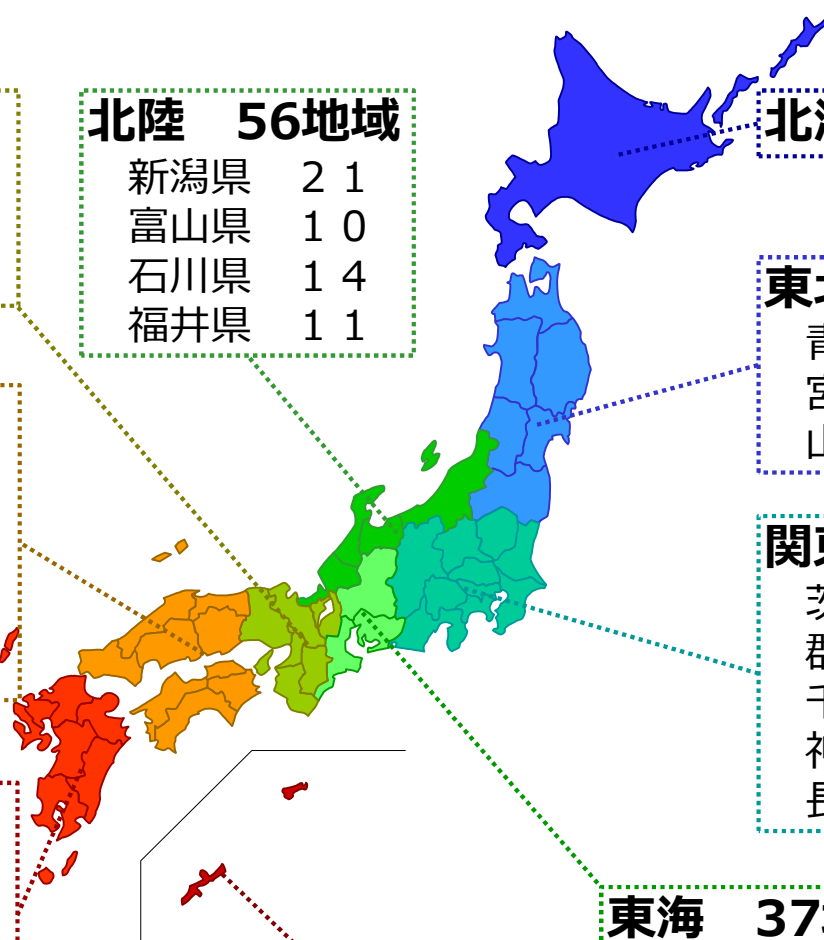
|           |              |
|-----------|--------------|
| <b>関東</b> | <b>107地域</b> |
| 茨城県       | 5            |
| 群馬県       | 9            |
| 千葉県       | 19           |
| 神奈川県      | 9            |
| 長野県       | 19           |
| 栃木県       | 10           |
| 埼玉県       | 6            |
| 東京都       | 5            |
| 山梨県       | 9            |
| 静岡県       | 16           |

|             |             |
|-------------|-------------|
| <b>中国四国</b> | <b>83地域</b> |
| 鳥取県         | 8           |
| 島根県         | 14          |
| 岡山県         | 14          |
| 広島県         | 16          |
| 高知県         | 6           |
| 山口県         | 7           |
| 徳島県         | 4           |
| 香川県         | 8           |
| 愛媛県         | 6           |

|           |             |
|-----------|-------------|
| <b>九州</b> | <b>81地域</b> |
| 福岡県       | 13          |
| 長崎県       | 10          |
| 大分県       | 6           |
| 鹿児島県      | 19          |
| 佐賀県       | 6           |
| 熊本県       | 21          |
| 宮崎県       | 6           |

**沖縄** 11地域

|           |             |
|-----------|-------------|
| <b>東海</b> | <b>37地域</b> |
| 岐阜県       | 15          |
| 三重県       | 16          |
| 愛知県       | 6           |

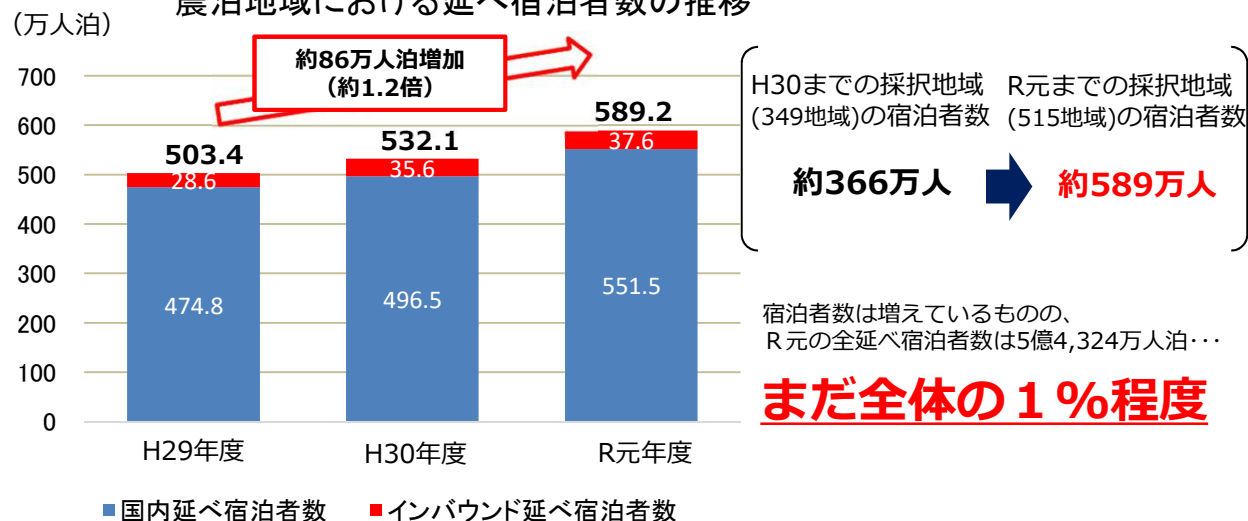


- 令和2年12月時点において、**全国554の農泊地域を採択**し、①利用者がイメージする「農泊」らしい滞在施設・体験プログラム等の増加等、コンテンツの質の向上・量の拡大、②Wi-Fi設置、キャッシュレス決済の導入など利用者の利便性の向上、③地域一体となった農泊推進体制の構築等に取り組んでいるところ。

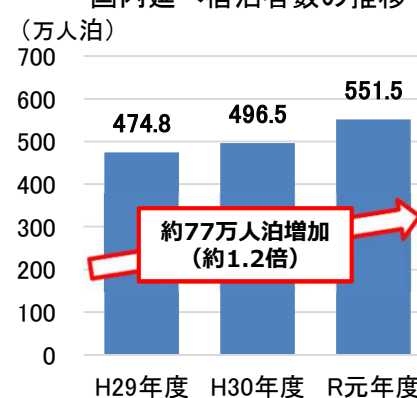
## 宿泊者数

- ・延べ宿泊者数は、平成29年度の**503万人泊**から令和元年度には**589万人泊**に**86万人泊増加**し**約1.2倍**に増加。
- ・うち、**国内旅行者は77万人泊増加**し、**約1.2倍**へ増加。**インバウンドは9万人泊増加**し、**約1.3倍**へ増加。

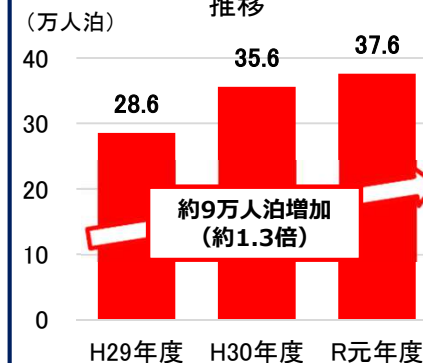
農泊地域における延べ宿泊者数の推移



国内延べ宿泊者数の推移



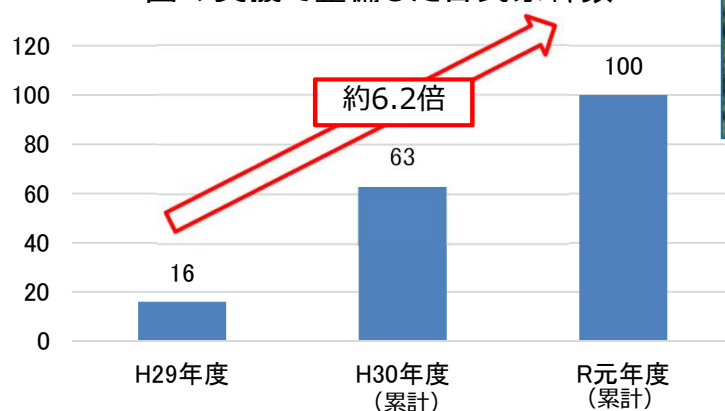
インバウンド延べ宿泊者数の推移



## 宿泊施設

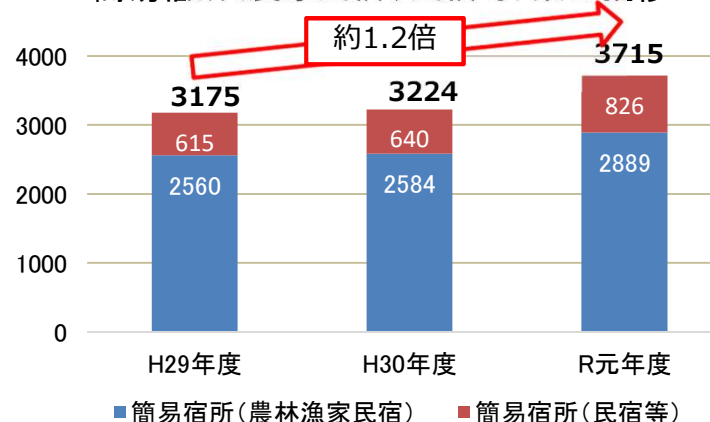
- ・国が支援して整備した古民家は、平成29年度の**16軒**から令和元年度（累計）には**100軒**へ**約6.2倍**に増加。
- ・個人旅行者のニーズにも対応した農家民宿の数は、平成29年度の**3,175軒**から令和元年度には**3,715軒**へ**約1.2倍**に増加

国の支援で整備した古民家軒数



古民家宿泊施設「美十八」  
(京都府南丹市)

簡易宿所(農家民宿、民宿等)数の推移



農家民宿  
(石川県能登町)



簡易宿所「民宿 市兵衛」  
(愛知県西尾市)

## ■ 農泊における課題と今後の取組

- 農山漁村ならではの宿泊、食事及び体験・交流をセットで楽しんでもらう仕組みづくりが課題。
- 農泊コンテンツの質の向上・量の拡大、利用者がストレスなくアクセスできるように利便性の向上、地域の人的資源を強化・集中するなど推進体制の構築を支援。

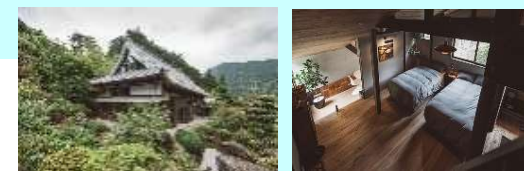
### ① コンテンツの質の向上・量の拡大

宿泊

魅力的な古民家等の宿泊施設が少ない

#### 利用者がイメージする「農泊」らしい宿泊施設の充実

- ・ 農山漁村地域らしい魅力ある農家民宿や古民家等の質の高い宿泊施設を整備
- ・ 一棟貸しとして整備することにより、個人旅行者のニーズにも対応



古民家一棟貸し

体験  
食事

優良なコンテンツの数が少ない

#### 地域ごとの新しいコンテンツの開発

- ・ 優れた景観を利用した効果的な周遊ルートの設定、楽しめる周遊手段（サイクリング等）の提供、ガイドによる歴史・自然解説等による体験プログラムの高付加価値化
- ・ 地元食材のフル活用、歴史・文化的背景も含めた食コンテンツの高付加価値化



サイクリング周遊

### ② 利用者の利便性向上

情報入手・予約とも、まとまりが乏しい

#### 利用者がストレスなく情報にアクセスし、サービスを受けられる環境の整備

- ・ 宿泊施設等のOTA（オンライン予約）、多言語等の対応可能な施設を拡大
- ・ 農泊の多様なコンテンツを旅行会社や利用者へ情報発信、販売に繋げるための効果的なプロモーション

### ③ 農泊推進体制の強化

地域の人材不足

#### サービス提供側の人的資源を強化・集中

- ・ 各地域で核となっている事業者における外部人材の活用、ノウハウの確保を推進
- ・ DMO等多様な主体と地域協議会との連携、農泊実践地域が抱える様々な課題に対応した専門家の現地派遣

## ■ 農泊関係アンケート（コロナを踏まえた農泊へのニーズ）

- 令和2年6月に、東京、大阪、名古屋の在住者1,000人を対象に行われた調査によると、コロナの影響下において、60%の人が三密を避け開放的な農山漁村への旅行を希望。特に20代・30代ではその傾向が顕著であり、約70%が農山漁村への旅行を希望。
- 近隣への旅行(マイクロツーリズム)やワーケーション、リモートワークの目的地としても農泊へのニーズが高まっている。

### 調査概要

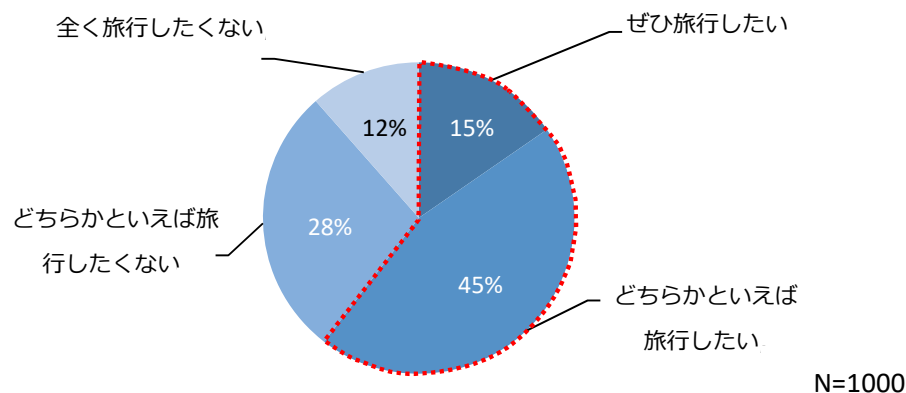
調査者：株式会社 百戦錬磨

調査手法：インターネットアンケート調査

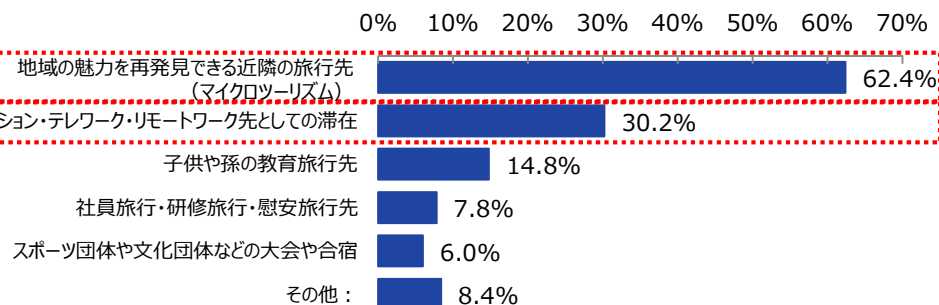
調査対象：東京23区、大阪市、名古屋市の在住者1,000人

調査日：令和2年6月25日

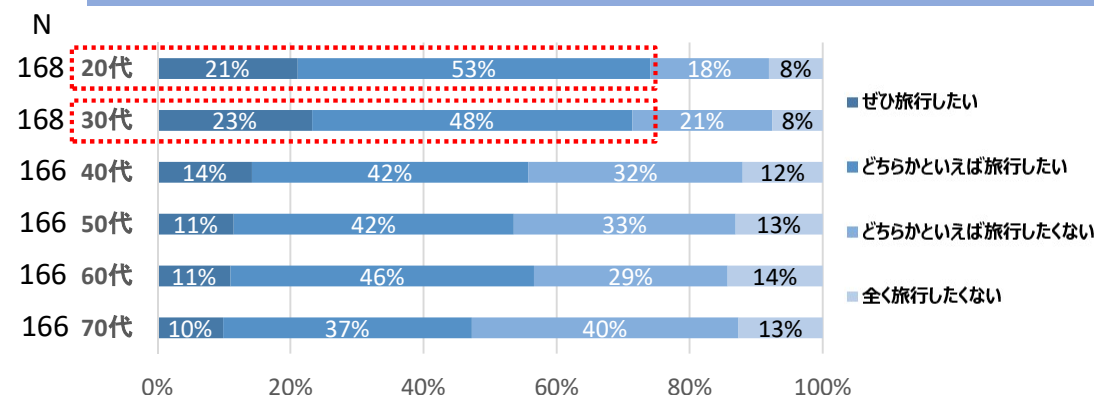
### Withコロナ期における農山漁村地域への旅行意欲



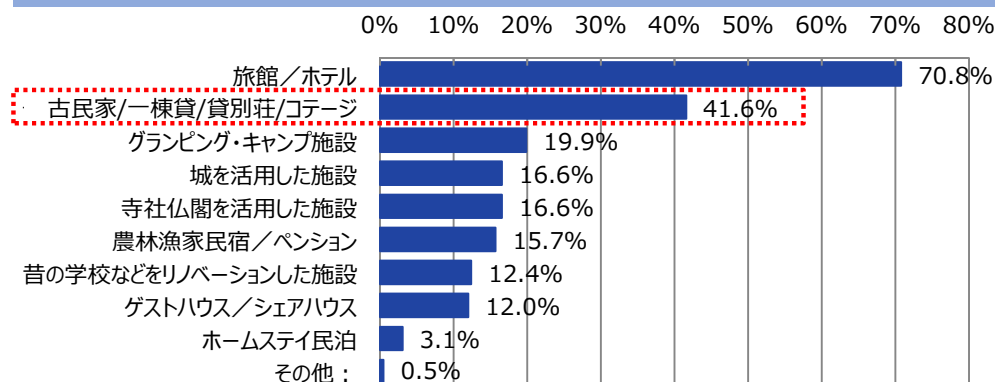
### 新しい生活様式を踏まえた農山漁村地域への旅行目的



### Withコロナ期における農山漁村地域への旅行意欲（年齢別）



### 農山漁村地域で泊まりたい宿泊施設



# 農泊地域におけるワーケーションの利用状況

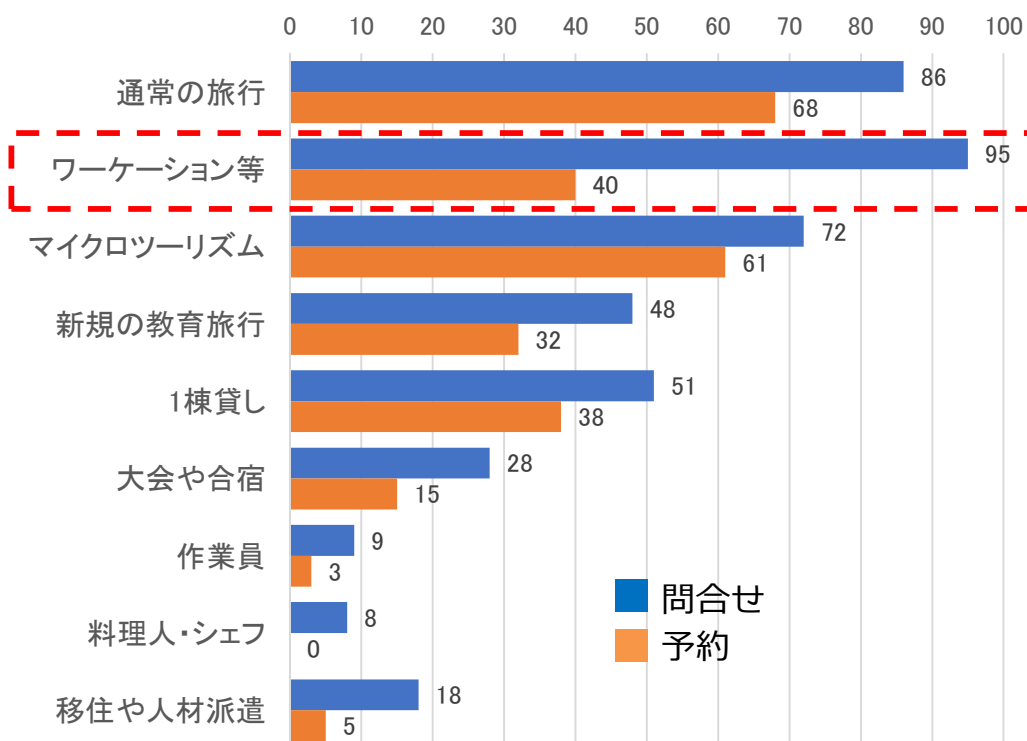
- 農泊地域において、ワーケーションに関する問い合わせや予約は、複数入ってきている状況
- 休暇を利用して滞在し、テレワークを行いながら食事や体験をするタイプ（休暇型）の他、企業や組織が研修や福利厚生で利用する事例（業務型）もみられる。（今後、利用実績・傾向等について把握していく必要）

## ワーケーションの予約状況

### ○令和3年2月の調査結果

農泊地域を対象に令和2年10月～令和3年1月の状況を調査  
(有効回答130地域)

コロナ禍における農泊地域への問合せと旅行者の需要



## 具体的な事例

### ○長崎県 雪浦ニューツーリズム協議会

業務型

地域活性化のためのアプリ開発に取り組むチーム。協議会が自然体験、郷土料理体験など提供。（4人、2泊、定期的に予約あり）



郷土料理体験



自然体験

### ○福岡県 うきは福富古民家まちづくり協議会

業務型

企業が会議と福利厚生の一環で、古民家コワーキング施設（flatfromUKIHA）で会議後、古民家宿を利用。余暇で地元産バーベキューやカヌーを体験。（11人、1泊）



会議状況



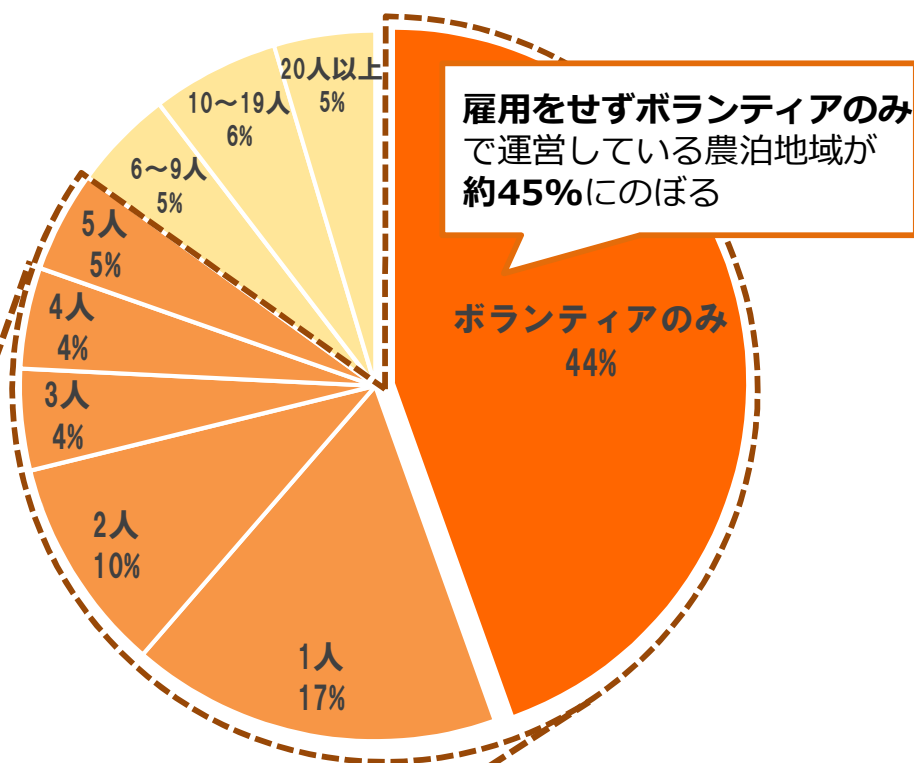
地元産バーベキュー



カヌー体験

- **およそ半数の農泊地域がボランティアのみで運営をしている状況**であり、農泊をビジネスとして発展させるために**重要な人材の確保が課題**
- **年間売り上げが100万円以下**である農泊地域は**半数以上**を占めており、従業員を雇用する財政的余裕がない可能性

農泊地域における雇用状況

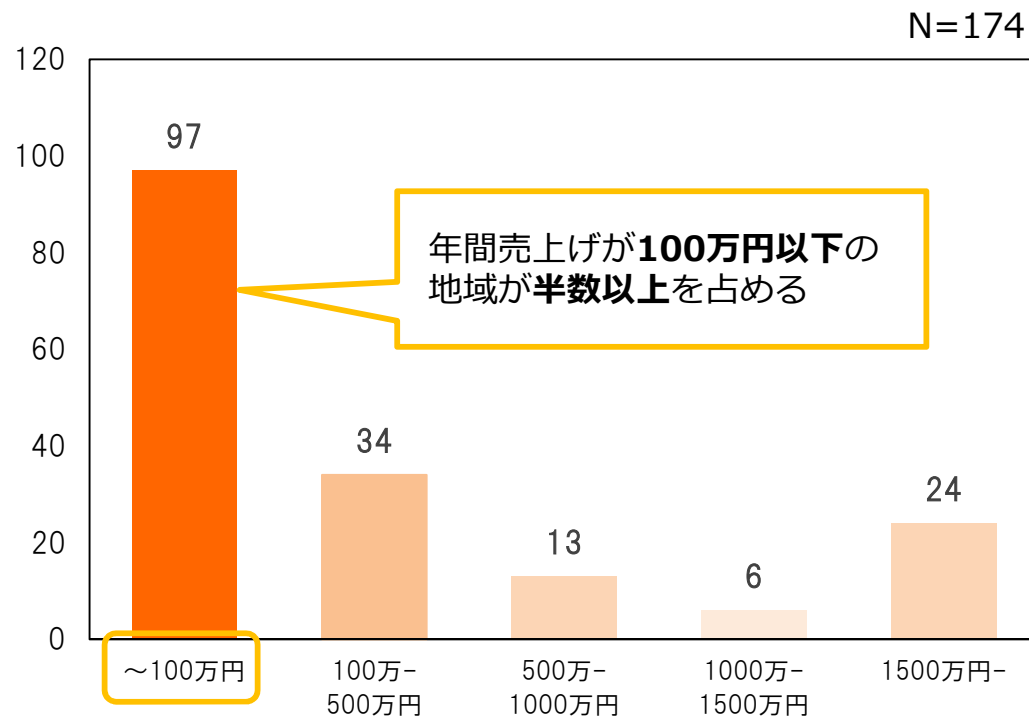


雇用している従業員が**5人未満**の農泊地域が全体の**約85%**を占める

雇用をせずボランティアのみで運営している農泊地域が約**45%**にのぼる

N=173

各農泊地域における年間売上げ



年間売上げが**100万円以下**の地域が**半数以上**を占める

N=174

出典：全国農泊推進組織の組織形態及び管理運営手法  
(藤村・大庭・古賀 2021年3月) より農水省作成

出典：全国農泊推進組織の組織形態及び管理運営手法  
(藤村・大庭・古賀 2021年3月) より農水省作成

○農泊地域協議会は、任意団体・組織として設立されたもののうち、ほとんどが依然として任意団体・組織のままとなっており、**法人化したものはごく少数**にとどまっている。  
ビジネスとしての自立よりも**公費補助によって支えられている地域が多く存在**する可能性がある。

| 当時 \ 現在 | 現在      |       |
|---------|---------|-------|
|         | 任意団体・組織 | 法人等   |
| 任意団体・組織 | ① 149   | ② 136 |
| 法人等     | 48      | 11    |
| 計       | 197     | 50    |

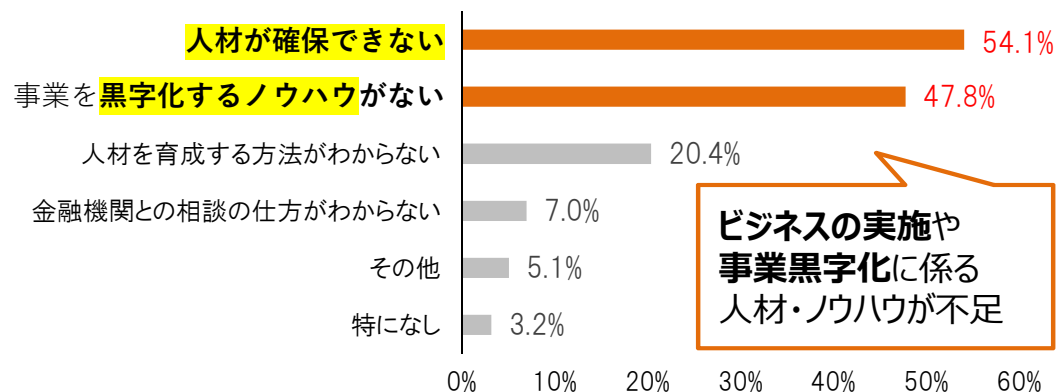
出典：令和2年度農泊経営人材育成研修受講者アンケート結果  
（全国農協観光協会 2021年3月）より農水省作成

- ①農泊地域協議会設立当時に「任意団体・組織」であった149組織のうち、  
||  
②R2年度現在までに「法人化」した者は13組織であり、  
+  
③残り136組織は、「任意団体・組織」から変化なし。

○**人材の確保**は、ビジネス体制構築、プロモーションといった**農泊地域の各取組において共通の課題**。  
 地域資源の観光コンテンツとしての磨き上げやインバウンド向けの情報発信・外国語対応なども**ノウハウの不足がネック**となっている状況。

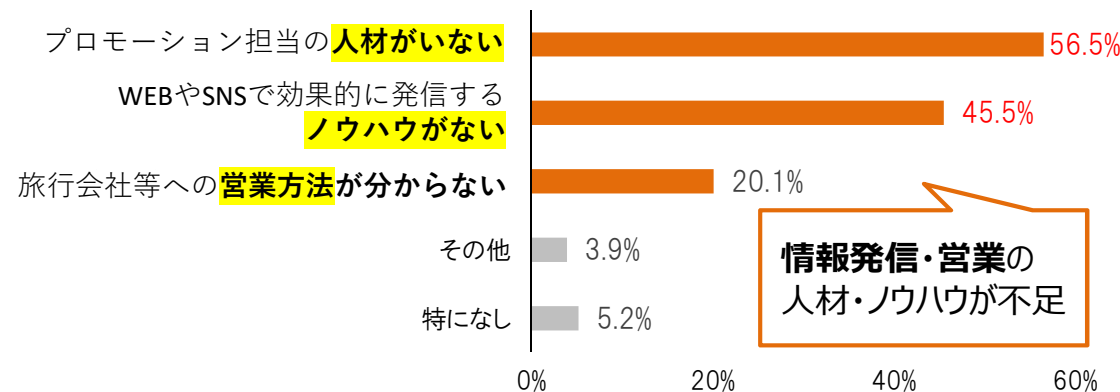
## ビジネス体制の構築

N=157



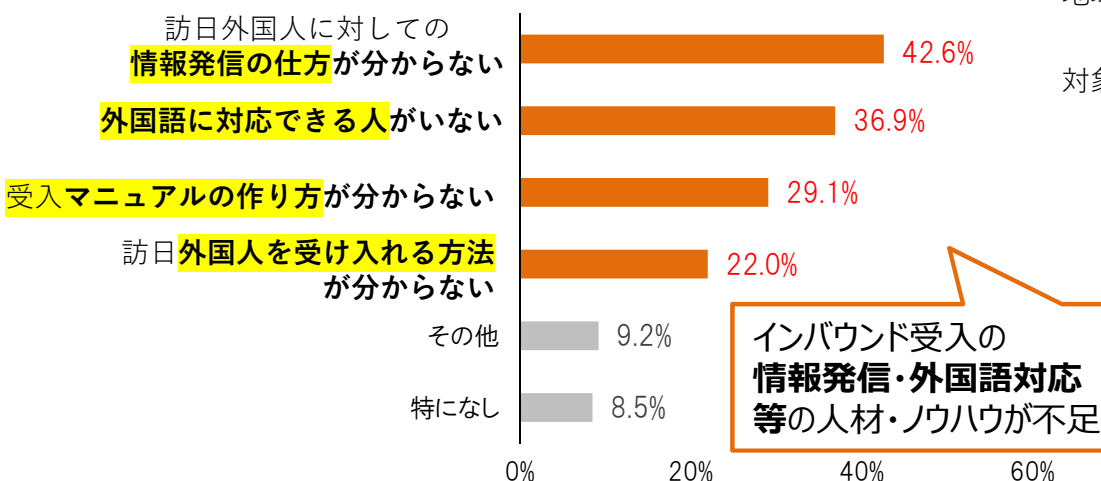
## プロモーション

N=154



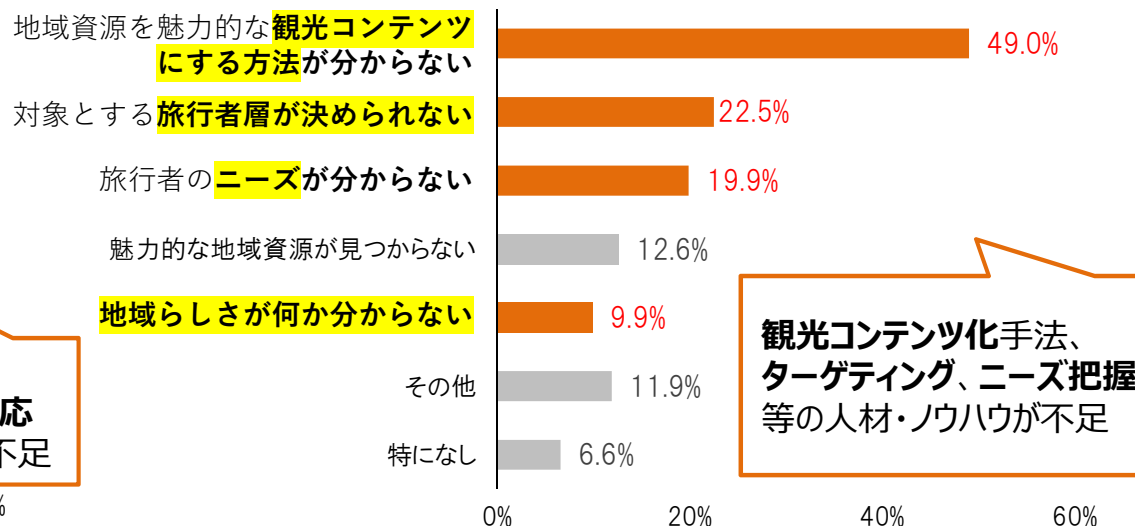
## 訪日外国人の受け入れ

N=141



## 地域の宝の磨き上げ

N=151



- 地域活性化起業人、地域プロジェクトマネージャー、企業版ふるさと納税（人材派遣型）など、企業から農山漁村地域の市町村等に人材を派遣する制度が充実

## 人材派遣への支援（基本スキーム）

### 特別交付税措置

#### 地域活性化起業人

三大都市圏の民間企業等の社員を、地方公共団体（市町村）が受入

- 特別交付税措置（市町村）  
受入経費(上限年間560万円(措置率1.0)/人)等
- 人材派遣期間 6月～3年

### 特別交付税措置

#### 地域プロジェクトマネージャー

三大都市圏の専門人材等を、地方公共団体（市町村）が任用

- 特別交付税措置（市町村）  
任用経費(上限年間650万円(措置率1.0)/人)
- 人材派遣期間 1年～3年
- 市町村が実施する重要プロジェクトを推進

### 法人関係税軽減（R2.10～創設）

#### 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

企業の人材が、地方公共団体職員等として、寄附活用事業に従事

- 税額控除…寄附額の最大約9割の法人関係税を軽減
- 派遣期間…地方公共団体と企業との協議
- 留意事項…寄附企業への経済的利益供与の禁止 等

## 企業と農山漁村地域のマッチング

### 民間企業 ② メリット

・人材育成・キャリアアップ、社会貢献



### ① 人材の派遣

（地域活性化起業人、地域プロジェクトマネージャー、企業版ふるさと納税（人材派遣型））

### ① 人材の派遣

（企業版ふるさと納税（人材派遣型））

### 地方公共団体 ② メリット

・専門的知識・ノウハウを活用  
・外部の視点や経営感覚で取組を展開  
・人件費の負担が少なく、人材を受入



財政上の支出

### 地域活性化事業を行う団体等 ② メリット

・専門的知識・ノウハウを活用  
・寄附を活用した事業に従事し、取組を充実・強化

農泊地域

### 専門人材が従事する取組

構想

- ・必要な取組の検討
- ・事業費財源の確保

計画

- ・事業の企画、立案
- ・事業計画書作成

実践

- ・地域資源のコンテンツ化
- ・プロモーション

国の支援施策活用期間



企業での農泊の活用

○農泊地域では、企業人材のノウハウを生かして農泊の様々な取組・場面において活躍して貰えることに期待。

## (株) 大田原ツーリズム (栃木県大田原市)



藤井氏と古民家宿泊施設「飯塚邸」



同社が提供する田植え体験

※写真は未来開墾ビジネスファームウェブサイトから引用

### 企業出身の人材

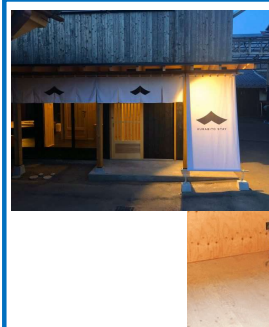
(株)大田原グリーンツーリズム 代表取締役社長  
藤井 大介 氏 (メーカー出身)

### ノウハウを活かした取組

- 全国の農村観光の事例を徹底的に調査・分析し、収益事業化の方法を検討
- 農村に人を呼ぶという社会的意義ばかりでなく、営業的観点から事業を見直し
- 「農家は最大の営業先」のマインドで農泊実施体制を構築

**開設当初 8 年間で利益を出す計画から 4 年目に黒字化を達成**

## (株) KURABITO STAY (長野県佐久市)



田澤氏と「酒蔵ホテル」の内装(建築時)、外装



同社が提供する酒造り体験

※写真はSAKETIMESウェブサイトから引用

### 企業出身の人材

(株)KURABITO STAY 代表  
田澤 麻里香 氏 (旅行会社出身)

### ノウハウを活かした取組

- 添乗員としてヨーロッパの小さな街を巡った経験から、地域住民が主体となる観光振興を企図
- 旅行会社で培ったノウハウにより
  - ・ 酒蔵を中心に飲食店やメーカーなども一体となって地域をブランディングする取組を立案
  - ・ 古民家を「酒蔵ホテル」に改装するとともに、酒造り体験を観光のキラーコンテンツ化

**1泊約3万円の酒蔵ホテルは酒造りの時期は完売**

- 企業人材を必要としている農泊地域において、地域活性化起業人や地域プロジェクトマネージャーといった企業人材の派遣に係る制度の活用を進めるため、重点市町村に焦点をあててニーズ把握・活用の働きかけ・企業人材のマッチング等を実施

## 農泊地域における企業人材の活用に係る課題

- 農泊地域では、農泊事業の推進や多角化を図るため、新事業を主導できるビジネスに精通したマネージャー人材がほしい
- また、慢性的な人不足であり、外部人材の活躍を求めている
- 自治体として、農泊地域に必要な人材のニーズを的確に把握できていない、また、出し手となる企業とのコネクションや企業の人材情報も不足



## 農山漁村における企業人材派遣制度の活用を後押しする取組を実施

- 自治体における制度活用を後押しするため、（一社）ファームステイ協会を通じて以下の取組を実施



- ①重点的に働きかけを行う13市町村（重点市町村）を選定



- ②重点市町村における企業人材に係るニーズ把握・制度活用の働きかけ



- ③重点市町村におけるニーズを踏まえた企業人材をマッチング



- ④重点市町村における制度活用の取組を他の市町村にも広く横展開

## 【重点市町村への働きかけの状況】

| 重点市町村          | 農泊協議会への積極関与 | 首長等面談日  | 人材派遣の進捗状況 |                              |          |
|----------------|-------------|---------|-----------|------------------------------|----------|
|                |             |         | 人数        | 派遣企業・[ミッション]・時期              | 活用制度     |
| ①青森県黒石市        | ○           | 3/2     | 調整中       | JAL(CA)                      |          |
| ②岩手県遠野市        | ○           | 3/24    |           |                              |          |
| ③岩手県八幡平市       | ○           | 3/3     | 2名        | JAL(CA)、クラブツーリズム・[商品開発など]・6月 | 起業人      |
| ④秋田県仙北市        | ○           | 3/25    | 調整中       | JAL(CA)                      |          |
| ⑤宮城県大崎市        | ○           | 5/14    | 調整中       | JAL(CA)・[観光磨き上げ]・7月          | 人材発掘⇒起業人 |
| ⑥宮城県大郷町        | ○           | 5/14    | 2名        | JAL(CA、マネージャー)・[観光磨き上げ]・7月   | 起業人      |
| ⑦栃木県大田原市       | ○           |         |           |                              |          |
| ⑧茨城県笠間市        | (予定)        | 2/19    |           |                              |          |
| ⑨千葉県成田市        | ○           | 1/20    |           |                              |          |
| ⑩千葉県いすみ市       | ○           | 3/31    | 調整中       |                              |          |
| ⑪長崎県平戸市        | ○           | 2/27    | 1名        | JAL(マネージャー)・[観光協会・磨き上げ]・6月   | プロマネ     |
| ⑫熊本県人吉球磨広域連携地域 | ○           | 4/21～22 |           |                              |          |
| ⑬宮崎県日南市        | (予定)        |         | 調整中       | JAL(マネージャー)                  |          |

ご静聴ありがとうございました。

問合せ先：農林水産省農村振興局都市農村交流課

[nohaku01@maff.go.jp](mailto:nohaku01@maff.go.jp)